

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	4 - 1
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第1節 秩序ある土地利用の推進	所管部署名	都市整備部	目標達成度
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)	評価責任者	竹内 栄一	◎
	施策小項目	1 計画的な土地利用の推進	関連部署名(1)	都市整備部都市計画課	
	施策小項目		関連部署名(2)		
	施策小項目		関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
	施策の目的	長期的な視点に立ち、地域の特性を活かし、総合的かつ計画的な土地利用をめざす。	市民の役割 市民と行政の役割	・まちづくりの計画やルールなどを定めるときには、説明会などの参加に努める。 ・まちづくりの計画やルールを理解し、居住環境の向上、維持・保全に努める。	
	施策に関する個別計画	吉川市都市計画マスタープラン(平成12年度～令和3年度)		地域の特徴を活かしたまちづくりの計画やルールなどを定める。なお、まちづくりの計画やルールなどを定めるときには、市民参画手続きを行い、市民との合意形成に努める。	
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか) ・市全域 ・市民	意図 (対象をどのようにしたいのか) 社会情勢の変化に対応するとともに地域の特徴を活かした、秩序ある土地利用が形成される。		

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	土地利用に対する市民満足度	%	53.6	60.4	56.2	◎	60
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ◎ 3.5	成果指標達成度 4 3 2 1 0 市民ニーズ反映度 市民 ニーズ 反映度 ※構成する事務事業については裏面を参照
	市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼	
	施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	施策評価 レーダーチャート	
施策に関する現状と課題 ・当市は、人口増加に伴う住宅地の受け皿として土地区画整理事業による良好な市街地開発を進めてきた。しかしながら、今後の人口減少・超高齢化に伴い、都市構造は、拡散型から集約型への転換が求められるとともに、防災上危険な市街地の改善など、都市計画上の課題も様々であることから、それらの課題に対し、都市計画マスタープランの改定を見据え、市の土地利用のあり方等を検討する必要がある。 ・まちづくりの計画やルールを定めるにあたっては、市民等の住環境や財産等に影響するため、情報提供や市民参加の機会拡大を図り、まちづくりに対する理解と関心を高めていく必要がある。			

今 後 の 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づき、計画的なまちづくりを推進する。なお、計画期間が満了するため、都市計画マスタープランの改定を行う。 ・地域の特徴を踏まえ、必要に応じて、用途地域や地区計画などの都市計画の見直しを行う。 ・都市計画に係る情報を提供し、市民の都市計画への理解と関心を高める。
-----------------------	---

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	701101	都市計画決定・変更事業	1 都市計画決定・変更の告示	回	3	2	現状のまま継続
2	701104	都市計画情報提供事業	1 都市計画に関するコンテンツの閲覧数	件	2,650	2,907	現状のまま継続
3	701103	まちづくり協議会支援事業	1 まちづくり協議会等への参加人数	人	50	59	終了・完了
4	701102	都市計画図修正事業	1 都市計画図の頒布	枚	120	104	現状のまま継続

平成29年度、平成30年度の主な取組実績	
主 な 取 組	<p>【都市計画決定・変更事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川美南駅東口周辺地区において、市街化区域へ編入するとともに、用途地域、都市計画道路、土地区画整理事業等を指定した。(平成29年6月23日) ・吉川周辺地区の用途地域を変更、地区計画及び準防火地域を指定、平沼西部地区の地区計画を変更及び準防火地域を指定、本吉川地区の地区計画を変更した。(平成29年6月23日) ・吉越橋周辺地区の地区計画及び準防火地域を指定、吉川・松伏工業団地地区の地区計画を変更、吉川保地区に準防火地域を指定した。(平成31年1月28日) <p>【まちづくり協議会支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平沼周辺まちづくり協議会の運営・活動支援を行った。なお、平沼周辺地区全域において地区計画と準防火地域の指定が完了したことから、平成31年3月に協議会は解散した。 ・平成30年2月15日に吉越橋周辺地区地区計画及び準防火地域並びに吉川保地区準防火地域に係る協議会案を市長へ提出した。

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	4 - 2
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第2節 新しい市街地の整備	所管部署名	都市整備部	目標達成度
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)	評価責任者	竹内 栄一	▼
	施策小項目	1 吉川中央地区の整備	関連部署名(1)	都市整備部都市計画課	
	施策小項目	2 吉川美南駅周辺地域の整備	関連部署名(2)	都市整備部吉川美南駅周辺地域整備課	
	施策小項目		関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
	施策の目的	快適な市民生活を支えるため、環境に配慮した市街地の形成を図る。吉川の新たな玄関口にふさわしい吉川美南駅と一体となったまちづくりを推進する。	市民の役割 市民と行政の役割	吉川中央:組合員として、土地区画整理事業の推進に協力する。 吉川美南(東口周辺):土地所有者や居住者をはじめとする住民が、事業の推進に協力する。	
	施策に関する個別計画	吉川中央:補助金の活用と土地区画整理法123条に基づく援助等を行い事業を促進する。 吉川美南(東口周辺):吉川美南駅と一体となった新たな拠点形成に向け事業を推進する。			
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか) (直接の対象)吉川中央地区、吉川美南駅周辺地域 (最終的な対象)市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	吉川中央:組合施行の土地区画整理事業の円滑な促進と、健全な経営が図れるようにする。 吉川美南(東口周辺):各種都市機能の集積や住宅地整備により、多機能型の市街地形成が図れるようにする。	

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	吉川中央土地区画整理事業面積に対する使用収益開始面積の割合	%	79.7	83.3	89.9	▼	100
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
②	吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業面積に対する使用収益開始面積の割合	%	0	-	-	-	11
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価	▼	施策の評価平均点	2.5
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼			
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	施策評価 レーダーチャート ※構成する事務事業については裏面を参照			

施策に関する現状と課題

■吉川中央地区:近年、補助金の交付額の低迷や家屋等の移転交渉の難航を受け、大幅な事業促進は図れなかった。そのため補助事業期間を令和2年度(平成32年度)まで延長し、令和2年度末の換地処分に向け事業の促進を図る。

■吉川美南駅周辺地域:令和元年5月から順次仮換地指定を実施しているが、換地への合意が図られない地権者がいることや、国の補助金の内示率が低いことから、全体の事業進捗に影響を及ぼす可能性がある。今後は事業期間内での整備を行うために、地権者と継続的に調整を重ね事業への協力を理解を得ることはもちろんのこと、効率性や経済性に優れた工事計画や建物移転計画を状況にあわせて適宜見直しを図りながら事業を推進していく必要がある。

今後の展開	■吉川中央地区 快適で機能的かつ良好な住環境を有する住宅地の形成を図るため、引き続き、吉川中央土地区画整理組合が施行する土地区画整理事業を促進する。
	■吉川美南駅周辺地域 市の新たな玄関口にふさわしい土地利用を図るため、「笑顔と緑あふれるみんなの庭」をコンセプトにした土地区画整理事業を、地権者及び関係機関の協力を得ながら、引き続き推進していく。

	貢献順位	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性(今後の方針)
				成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
構成	1	701401	吉川中央土地区画整理促進事業	1 事業の進捗率(事業費ベース)	%	93	92	現状のまま継続
	2	702101	土地区画整理推進事業	1 土地区画整理法等に基づく事業実施手続き	%	40	40	現状のまま継続
	3	702102	土地区画整理事業特別会計運営事業	1 予算執行額	千円	1,097,975	1,087,743	現状のまま継続
	4	702103	長期債償還事業(利子)	1 償還金(利子)歳出額	%	2.23	4.81	現状のまま継続
成 す る 事 務 事 業								

平成29年度、平成30年度の主な取組実績	
主な取組	■吉川中央地区 補助金の交付額の低迷や家屋等の移転交渉の難航を受け、大幅な事業促進は図れなかった。そのため補助事業期間を令和2年度(平成32年度)まで延長し、清算期間を含んだ事業期間を令和5年度(平成35年度)までとした。平成30年度までに工事及び移転補償が完了した。今後、令和2年度末の換地処分に向け事業の促進を図る。
	■吉川美南駅周辺地域 平成29年度 5月: 地元説明会、6月: 土地区画整理事業の決定、まちづくりニュース発行、8月: 申出換地個別相談会、 11月: 第1、2回土地区画整理審議会、まちづくりニュース発行、12月: 第1回評価委員会、換地申出の実施、盛土造成工事開始、 1月: 第3回土地区画整理審議会、3月: 地元説明会 平成30年度 4月: 第1回まちづくりパートナー募集、5月: 地権者個別面談会、まちづくりニュース発行、8月: 第4回土地区画整理審議会、 9月: 第2回まちづくりパートナー募集、11月: 市長キャラバン(近隣公園)、第5回土地区画整理審議会、第2回評価委員会、 12月: まちづくりニュース発行、12月~1月: 仮換地供覧、2月: 第1回近隣公園ワークショップ、3月: 第2回近隣公園ワークショップ

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	4 - 3
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第3節 快適な道路網の充実	所管部署名	都市整備部	目標達成度
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)	評価責任者	竹内 栄一	◎
	施策小項目	1 幹線道路の整備	関連部署名(1)	都市整備部道路公園課	
	施策小項目	2 生活道路の整備	関連部署名(2)	都市整備部都市計画課	
	施策小項目	3 道路の維持管理の充実	関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
施策の目的	すべての人が安全で快適に通行できる道路環境をめざす。			市民の役割 市民と行政の役割	施策名: 幹線・生活道路の整備 道路調査・測量及び用地提供などに対し理解し協力する。 施策名: 道路環境の整備 道路の危険個所を発見した場合、市に連絡する。
施策に関する個別計画					施策名: 幹線・生活道路の整備 市民が安全で通行できるよう道路の拡幅など道路改良工事を行う。 施策名: 道路環境の整備 道路パトロールなどを行い危険個所の早期発見及び補修による道路の適切な維持管理
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	(直接の対象) 市道 (最終的な対象) 市道を利用する全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	都市計画道路などの幹線道路が整備され体系的な道路交通ネットワークの形成を図る。 主要な生活道路が整備され、安全かつ快適に通行できるようにする。	

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	道路整備に対する市民満足度	%	48.4	59.3	51.0	◎	55
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ◎ 3.5 目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼	成果指標達成度 4 3 2 1 0 事務事業構成度 施策進捗度 市民ニーズ反映度 ※構成する事務事業については裏面を参照
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった		
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった		

施策に関する現状と課題

①指標の「道路整備に対する市民満足度」については、住みごこちを「よい」とする回答の幹線道路整備と生活道路整備の平均で59.4%と約6割の評価は得られているものの、35.1%の方が「いいえ」と回答しており、道路に関しては様々な意見が出されている。

②幹線道路の整備については、渋滞緩和等の道路環境の改善につながるものであるため早期完成を望む意見も多いが、事業には多額の費用がかかることから、埼玉県や隣接市とも協力しながら計画的に整備を進めている。

③生活道路の整備については、市民などから多くの要望が寄せられているが、全てに対応することは困難なため、道路パトロールなどにより日常的に道路の路面状況を把握しながら、補修等が必要な箇所を選定し、優先順位を付けて修繕等を行っている。

今 後 の 展 開	①指標の目標値を上回っている状況であることから、基本的に現在の取組は継続していく。
	②幹線道路の整備については、整備することによって交通渋滞などの問題が効果的に解消できるよう、国や県が行う事業との調整を図りながら計画的に進める。
	③生活道路の整備については、地域の協力を得ながら、優先順位を付けて計画的に進める。

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標			事業の方向性 (今後の方針)	
				成果指標名	単位	H30目標値		H30実績値
構 成	1	703203	道路維持補修事業	1 道路補修要望等処理率	%	85	62	現状のまま継続
	2	703201	道路改良事業	1 道路改良工事延長	m	646	678	現状のまま継続
	3	703202	都市計画街路整備事業	1 都市計画道路整備率	%	74	74	現状のまま継続
	4	703205	越谷総合公園川藤線街路整備事業	1 都市計画道路越谷総合公園川藤線道路用地買収面積	m ²	2,846	2,439	現状のまま継続
	5	703204	橋りょう長寿命化事業	2 橋梁の修繕率	橋	17	18	効率化
	6	703102	まちづくり整備基準条例道路後退用地取得事業	1 指定市道路線の道路後退用地の採納申請件数	件	20	37	現状のまま継続
	7	703101	道路台帳整備事業	1 道路台帳補正更新延長	m	4,150	2,523	効率化
す る 事 務								
事 業								

主 な 取 組	平成29年度、平成30年度の主な取組実績
	<p>①幹線道路の整備については、越谷吉川線の整備に関しては、市施行の中井地内の工事は、平成29・30年度は大場川に架ける橋りょうの取り付け部の地盤改良工事を施工した。また、県施行の吉川橋工区の工事についても、県との調整を図りながら事業費の一部負担を行い、事業を促進した。また、市施工の越谷総合公園川藤線については、用地買収が必要な土地所有者との交渉を進めるため、平成30年度には用地測量や補償費の積算、不動産鑑定業務を行った。</p> <p>②生活道路の整備については、職員による日常的な道路パトロールや市民等からの連絡を受け、通行上支障のある舗装の補修工事や側溝布設等の改良工事、吉川美南地区のゾーン30工事、橋梁の補修などを行った。また、敷砂利や舗装の要望についても、必要な箇所を優先順位を付けて対応し、道路施設の安全管理に努めた。</p>

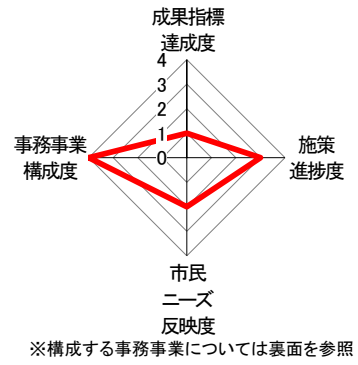
令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	4 - 4
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第4節 充実した公共交通網の整備	所管部署名	政策室	目標達成度
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)	評価責任者	野尻 宗一	▼
	施策小項目	1 都市間交通の充実	関連部署名(1)	政策室	
	施策小項目	2 市内公共交通網の整備	関連部署名(2)		
	施策小項目	3 交通利便性の向上	関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
	施策の目的	市民が都市間を移動しやすくなることをめざす。 だれもが公共交通機関を利用して行きたい時に行きたい場所へ移動する機会が得られることをめざす。 市民が公共交通機関を利用しやすい環境づくりをめざす。		市民の役割	公共交通機関を積極的に利用する。
	施策に関する個別計画			市民と行政の役割	市民の利用状況の把握とニーズを調査し、バス事業者や鉄道会社に対し要望するとともに、各社と連携し、市民が利用しやすい環境を整える。
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	公共交通機関を使って行きたい場所に移動しやすくなる。

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	公共交通の充実に対する満足度	%	42.6	43.9	45.6	▼	50
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ▼ 2.5
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	
施策に関する現状と課題 ・目標である「公共交通に対する満足度」については、設定時よりは向上したものの、目標を達成することができなかった。 ・路線バスについては、市民から寄せられる要望などを基に、事業者への要望活動を行っているが、増便や路線の新設等については運転手不足や利用者の状況に伴う採算性などの課題から実現が厳しい状況である。 ・鉄道については、沿線自治体とともに要望活動を実施してきた結果、東京駅直通の運行本数や強風に伴う連休対策等が充実してきているが、市民からの要望の中で最も多い深夜帯における運行時間帯の延長は実現できていない。また、吉川駅においては、平成30年度にホームと電車の隙間への転落防止対策が講じられ、利用者の安全性が向上した。 ・比較的交通便利性の低い地域の公共交通の補完を目的として、平成29年度から試行的に3年間、該当する地域の75歳以上の方を主な対象にタクシー利用助成事業を実施している。			



今後の展開
 鉄道、路線バス事業者への要望活動を引き続き実施していくとともに、公共交通の利用促進を推進していく。また、タクシー利用料金助成事業については、今後実施する移動実態調査や利用者アンケートを踏まえ、事業の検証を行っていく。

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標			事業の方向性 (今後の方針)	
				成果指標名	単位	H30目標値		H30実績値
構 成	1	101303	路線バス運行費補助事業	1 補助対象路線の利用者数	人	650,000	657,830	現状のまま継続
	2	101301	武蔵野線旅客輸送改善対策事業	1 住み心地を悪いとした理由で「鉄道の便」と回答した市民の割合	%	40	37	現状のまま継続
	3	101304	公共交通対策事業	1 公共交通を利用しやすいと感じている市民の割合	%	50	44	現状のまま継続
	4	101305	タクシー利用料助成事業	1 タクシー利用料助成券の利用率	%	60	73	現状のまま継続
	5	101302	鉄道新線対策事業	1 地下鉄8号線の建設促進に係る要望活動及び会議への出席率	%	100	100	現状のまま継続
	6	101306	ノンステップバス導入費補助事業	1 ノンステップバス運行率	%	100	97	現状のまま継続
す る 事 務 事 業								

主な取組
 平成29年度、平成30年度の主な取組実績
 ・市民意識調査等により把握した市民ニーズ(本数増や運行時間延長など)を公共交通事業者へ要望した。
 ・東京直結鉄道の実現に向けて、地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会を通して要望活動を行った。
 ・平成29年度から3年間の試行的取り組みとしてタクシー利用料金助成事業を実施した。

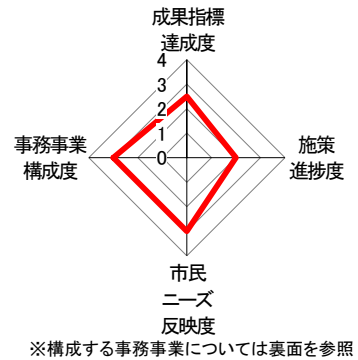
令和元年度 施策評価シート

評価日	令和元年12月1日	No.	4 - 5
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第5節 魅力ある農業の振興	所管部署名	産業振興部	目標達成度	
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)	評価責任者	山崎 守	△	
	施策小項目	1 農業経営の活性化	関連部署名(1)	産業振興部商工課		
	施策小項目	2 市民に理解される農業振興	関連部署名(2)	農業委員会		
	施策小項目	3 生産基盤の整備	関連部署名(3)			
施策小項目		関連部署名(4)				
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 安定・持続した農業経営のもと、消費者に安全安心な吉川産農産物が安定供給されることをめざす。 農業生産基盤を整備し、生産効率の高い農業が行われることをめざす。 土に親しむ機会等が増えることにより、市民の農業に対する関心を高めることをめざす。 		市民の役割 市民と行政の役割	生産者は、消費者ニーズに対応できる安定した農業経営を、また、消費者は市民農業や食に関する理解を進めるよう努める。		
施策に関する個別計画				生産効率の高い、安定した農業経営のもと、消費者に農産物が提供されるよう、農業者への支援を行う。市民の市内農業に対する関心が深まる機会を提供する。		
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	農業者・農業基盤施設(ほ場・水路等)・全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	生産効率が高く、安定した農業経営のもと、消費者に吉川産農産物が提供される。市民の農業に対する関心が高まる。		

区分	指標名(上段)		単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)							
①	認定農業者及び認定新規就農者数		人	96	86	98	▼	100
	増加することが良いとされる指標			H27	H30	H30		R3
②	各種イベント参加者アンケートにおける吉川産農産物の購入意欲度		%	94.8	98.0	97.4	◎	100
	増加することが良いとされる指標			H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価	△	施策の評価平均点	2.63
	市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 施策評価 レーダーチャート </div>		
	施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった				



施策に関する現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者数については、3経営体の実績値となり、各経営体に対し支援を行った。 認定農業者数については、高齢化や後継者不足等の理由により、更新をしない農業者が増えたことで、実績値(83経営体)が下がることになった。 吉川産農産物の購入意欲度については、各種イベントを通じて、効果的な農産物PRを行うことが出来たため、目標値を上回る実績値(98.0%)となった。 全国の農業者の傾向と同様、認定農業者も高齢化が加速しているため、若い農業者の育成及び支援を図る必要がある。
-------------	--

今後展開
 認定農業者及び新規認定就農者数を増加させるため、候補者宅の訪問や補助制度のPRを行い、活用の推進を図る。また、農業経営の安定に繋がる法人などの取り組みに対する支援を行う。

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	601102	吉川農産物PR事業	1 イベント参加者満足度	%	90.0	94	拡大
2	601105	認定農業者育成事業	1 認定農業者及び認定新規就農者数	人	87	86	拡大
3	601116	新規就農総合支援事業	1 青年新規就農者の離農者	人	0	0	現状のまま継続
4	601112	農業団体支援事業	1 会員の総数	人	130	116	現状のまま継続
5	601103	後継者団体活動補助事業	1 農業後継者団体新規加入者	人	3	0	現状のまま継続
6	601113	農地集積促進事業	1 利用権設定面積	m ²	80,000	347,260	手段を改善
7	601106	農業近代化資金利子補給事業	1 利子補給制度利用借入件数	件	18	17	現状のまま継続
8	601108	市民農園管理運営事業	2 利用率	%	100	88	拡大
9	601109	農業振興地域整備事業	1 申請から認可まで要する月数	月	12	18	現状のまま継続
10	601101	水田農業振興事業	2 経営所得安定対策等参加農家数	戸	20	18	手段を改善
11	601107	農事組合振興事業	1 農事組合加入世帯	世帯	1,300	1,213	現状のまま継続
12	601114	安全安心農産物事業	2 農産物の放射性物質分析検査結果公表数	件	2	2	現状のまま継続
13	601111	市民まつり農業まつり事業	2 農業まつり品評会(農産物)出展数	点	400	395	現状のまま継続
14	601110	家畜伝染病防除対策事業	1 家畜伝染病発生件数	件	0	0	現状のまま継続
15	601203	用排水路整備事業	1 水路の整備率	%	100	72	現状のまま継続
16	601202	用排水路維持管理事業	1 用排水路の補修要望処理率	%	90	72	現状のまま継続
17	601201	農地維持・資源向上支払交付金事業	1 活動組織継続率	%	100	100	現状のまま継続
18	601204	土地改良施設維持事業	1 事業実施率	%	100	100	現状のまま継続
19	601206	土地改良施設維持管理適正化事業	1 整備実施率	%	100	88	現状のまま継続
20	601104	後継者育成資金利子補給事業	1 補助金利用件数	件	1	0	手段を改善
21	601115	農業チャレンジ吉川塾推進事業	1 農業チャレンジ吉川塾塾生数	人	1	0	手段を改善
22	601205	埼玉型ほ場整備事業	1 協議会	組織	1	0	現状のまま継続
23	909101	農業委員会運営事業	1 利用集積率	%	14	16	現状のまま継続
24	909102	農地パトロール事業	1 遊休農地面積	ha	4	4	現状のまま継続

主な取組
 平成29年度、平成30年度の主な取組実績
 ・認定農業者育成事業については、認定農業者候補者宅への訪問及び補助金の周知を行った。
 ・吉川農産物PR事業については、体験田植え・稲刈りや産直めぐりなどの各種イベントを通じ、吉川産農産物のPRを行うことで、参加者の購入意欲度向上に寄与した。
 ・新規就農総合支援事業については、給付金支給により、不安定な就農直後の農業経営を支援することで、離農者を出さない環境づくりを行った。

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	4 - 6
-----	-----------	-----	-------

基本事項	施策名	第6節 賑わいある商業の振興	所管部署名	産業振興部	目標達成度
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)	評価責任者	山崎 守	△
	施策小項目	1 経営の安定化	関連部署名(1)	産業振興部商工課	
	施策小項目	2 商業基盤の整備	関連部署名(2)		
	施策小項目		関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
本	施策の目的	事業者の経営の安定・持続、消費者に魅力ある個店の増加及び新たに創業ができることをめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	事業者は、顧客ニーズの把握と新製品の開発に努めるとともに、経営改善に取り組む。商業団体は、研修会やイベント等の実施を通じて消費者の拡大に努める。
	施策に関する個別計画	吉川市産業振興計画(平成31年度～令和3年度)			
項目	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)	経営力が向上し、安定した経営ができる。新規顧客が開拓され、販売売上げが増加する。	

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	市内に魅力ある商店がある(買い物がしたい)と答えた市民の割合	%	74.3	75.8	77.5	▼	80.5
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3
②	商店数	店	284	430	284	◎	284
	増加することが良いとされる指標		H26	H28	H30		R1

施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた	目標達成度評価 施策の評価平均点	△	3.63	成果指標達成度 4 3 2 1 0 市民ニーズ反映度 事務事業構成度 施策進捗度
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた				
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった				
市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼	施策評価 レーダーチャート	※構成する事務事業については裏面を参照	
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた				
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった				
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった	市民ニーズ反映度 事務事業構成度 施策進捗度	施策評価 レーダーチャート	※構成する事務事業については裏面を参照	
	<input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった				
	<input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった				

評価	施策に関する現状と課題 商業団体の活動を支援し、地域経済の活性化に取り組んでいるが、商業団体へ参加する事業者が増えていない。平成30年度に、飲食品を「大吉ブランド」としてブランド化を図った。認知度向上のため、市内外への積極的なPRが必要。「市内に魅力ある商店がある(買い物がしたい)と答えた市民の割合」は目標値を達成できなかったが上昇傾向にある。
----	--

今後の展開	・商業団体の活動を引き続き支援するとともに、官民協働で販路拡大などに取り組む。 ・ふるさと納税制度を活用し、市の地場産品等をPRしていく。
-------	--

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	602104	商工会支援事業	1 新会員数	事業所	62	50	現状のまま継続
2	602101	商業活性化推進事業	1 対象団体会員数	事業所	140	113	現状のまま継続
3	602105	経営改善推進事業	1 相談件数	件	5	3	現状のまま継続
4	602103	融資制度事業	1 融資実行件数	件	1	0	現状のまま継続
5	602108	ふるさと納税推進事業	1 返礼品の送付件数	件	1,000	584	手段を改善

平成29年度、平成30年度の主な取組実績					
主な取組	補助金交付団体・補助金交付額				吉川大吉ブランド 「手土産にしたいくなる吉川の逸品」をコンセプトに、吉川の優れた産品を「吉川大吉ブランド」として認定。 【認定数】 25商品 【認定期間】 H30.11.18～R3.3.31
	名称	平成29年度補助金交付額	平成30年度補助金交付額		
	吉川市商工会	9,200,000円	8,200,000円		
	なまず特産品販売会	684,000円	684,000円		
	よしかわラッピーカード会	380,000円	380,000円		
	吉川団地名店会	144,000円	144,000円		
	一店逸品事業	750,000円	750,000円		

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	4 - 7
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第7節 活力ある工業の振興	所管部署名	産業振興部	目標達成度
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)	評価責任者	山崎 守	△
	施策小項目	1 経営の安定化	関連部署名(1)	産業振興部商工課	
	施策小項目	2 工業団地の整備	関連部署名(2)	産業振興部企業誘致担当	
	施策小項目	3 企業の立地推進	関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の経営の安定・持続、新たに創業する事業者が増加することをめざす。 ・工業団地が整備されることにより、立地企業が増えることをめざす。 		市民の役割 市民と行政の役割	企業は常に市場や顧客ニーズを把握し、新技術や新製品の開発に努めるとともに、経営改善に取り組む。
	施策に関する個別計画	吉川市産業振興計画(平成31年度～令和3年度)			経営相談、経営セミナー等の実施や制度融資の利用を促進し、経営の安定を図る。工業・建設業団体が取り組む事業を必要な範囲で支援する。工業団地の整備と工場立地情報の把握に努める。
	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	市内工業・建設業者、市内工業・建設業団体市内での立地、移転、拡張等により用地取得を希望する企業	意図 (対象をどのようにしたいのか)	経営力が向上し、安定した経営ができる。 新規創業ができる。 新たな用地を取得し、立地できる。

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	工業事業所数	事務所	179	189	197	△	211
	増加することが良いとされる指標		H26	H30	H30		R2

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 △ 3.5 目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼	
	市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった		
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった		

評 価	施策に関する現状と課題 工業事業所は増加しているが、更なる増加のためには新たな工業用地が必要。今後は、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理地内の産業ゾーンへの工業事業所立地が見込まれる。
--------	--

今後の展開

・ものづくりアワードや産業フェア、展示会への出展支援などを通じて、市内事業者の優れた技術や製品を官民協働でPRし、市内工業の活性化を促進する。

・新たな工業用地の整備に向けて情報収集や関係機関との調整を進める。

貢献順位	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	602104	商工会支援事業	1 新会員数	事業所	62	50	現状のまま継続
2	602102	工業団体支援事業	1 吉川工専工業会の会員数	事業所	80	71	現状のまま継続
3	602105	経営改善推進事業	2 経営革新計画の承認事業所数	件	4	2	現状のまま継続
4	602103	融資制度事業	1 融資実行件数	件	1	0	現状のまま継続
5	603101	市内企業等の拡張支援事業	1 市内における企業誘致関連情報収集活動記録の作成	%	100	100	現状のまま継続

平成29年度、平成30年度の主な取組実績		
主な取組	補助金交付団体・補助金交付額	
	名称	補助金交付額
	吉川工専工業会	228,000円
※補助金交付額については平成29・30年度同額。		<p>吉川ものづくりアワード</p> <p>市内企業の持つ優れた技術・特徴的な製品に対し、「吉川ものづくりアワード」として表彰。</p> <p>平成30年度 大賞 LEDマックスムーン 優秀賞 はも・あなご胴籠</p>

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	4 - 8
-----	-----------	-----	-------

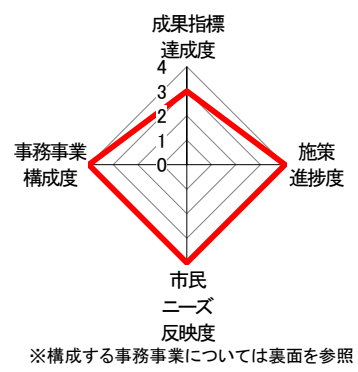
基 本 事 項	施策名	第8節 労働環境の充実	所管部署名	産業振興部	目標達成度
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)	評価責任者	山崎 守	○
	施策小項目	1 就労機会の拡大	関連部署名(1)	産業振興部商工課	
	施策小項目	2 勤労者福利厚生の充実	関連部署名(2)		
	施策小項目	3 働くひとのための相談の利用促進	関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
施策の目的	雇用の安定と就労機会が拡大されることをめざす。勤労者が安心して働ける労働環境の向上をめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	安定した生活を送るため就労に努める。事業者は、雇用の創出に努めるとともに、従業員のための福利厚生事業を実施する。	
施策に関する個別計画				求職者の就業支援や労働者の雇用問題解決を支援する。勤労者の住宅取得支援や福利厚生事業の活用促進を図る。表彰制度により労働意欲を高める。	
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)	求職者が就業により安定した生活が送れるようになる。勤労者の生活基盤が安定し、労働意欲が高まる。		

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	多様な働き方認定企業認定件数	社	16	23	25	△	34
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
②	市内求人情報誌掲載企業数	件	248	290	273	◎	297
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点	○ 3.75
	市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった		
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった		

目標達成(100%以上):◎
 目標をほぼ達成(80%~99%):○
 目標を下回る(50%~79%):△
 目標を大幅に下回る(49%以下):▼

施策評価
レーダーチャート



評 価	施策に関する現状と課題
	市内事業者の求人情報誌の配布や合同就職面接会の開催などにより、職住近接の働き方を市民が選べるよう支援している。また、多様なライフスタイルやライフステージに合わせた多様な働き方支援を進める必要がある。

今後の展開

- ・市内求人情報誌を毎月配布するとともに、合同就職面接会を開催し、引き続き市内事業所とのマッチングを図る。
- ・テレワークなど多様な働き方も選択できるよう支援を行う。

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	602201	雇用対策推進事業	1 就職相談利用者数	人	24	27	現状のまま継続
2	602204	勤労者表彰事業	1 受賞者数	人	11	7	現状のまま継続
3	602202	勤労者住宅資金貸付事業	1 新規融資実行件数	件	1	0	現状のまま継続

平成29年度、平成30年度の主な取組実績

主な取組

○合同就職面接会

	参加事業所数	来場者数	面接数	就職者数
平成29年度	18事業所	30名	31件	8名
平成30年度	29事業所	41名	46件	7名

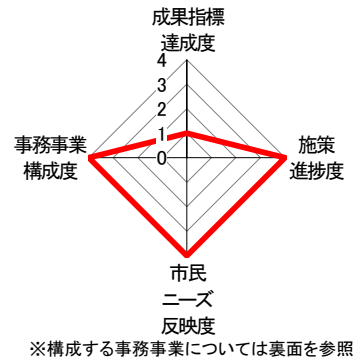
令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	4 - 9
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第9節 観光の充実	所管部署名	産業振興部	目標達成度
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)	評価責任者	山崎 守	▼
	施策小項目	1 観光事業の充実	関連部署名(1)	産業振興部商工課	
	施策小項目	2 観光資源の開発	関連部署名(2)		
	施策小項目		関連部署名(3)		
施策小項目		関連部署名(4)			
施策の目的	吉川の魅力が広まり、観光客が増加することで賑わいのあるまちになることをめざす。		市民と行政の役割分担の役割	観光団体は、観光事業の中心的役割を担い、市とともに観光資源の開発や整備、観光イベントを行う。市民は、観光事業への参加やPRに協力することに努める。	
施策に関する個別計画				観光団体への支援を行うとともに、観光資源の開発や整備、観光イベントを行い、観光客の誘致に努める。	
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)	市民が地元への愛着を持てるようになる。観光客が観光に訪れたいと思うようになる。観光団体が中心的役割を担い、魅力ある観光事業が行えるようになる。		

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	入込観光客数	件	73,000	37,100	83950	▼	94,900
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ▼ 3.25
	市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	



評価	施策に関する現状と課題 よしかわ観光協会を通じて、主に八坂祭りやジャズナイトなどのイベントによる観光集客を図っている。 入込観光客数について、設定時の値及び目標値には「市民まつり来場者数」が含まれているが、平成29年度より市民まつり来場者数の集計が行われなくなったため目標値まで至らなかった。
----	---

今後の展開

- ・よしかわ観光協会へ補助金を交付するとともに事務局を商工課で担うことで運営を支援する。
- ・会員増に努めるとともに、会員主体の運営が図られるよう検討を行う。

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	H30目標値	H30実績値	
1	602106	観光団体支援事業	2 観光協会純増会員数	件	17	7	現状のまま継続
2	602109	観光資源整備事業	1 なまずモニュメント制作及び設置工事の進捗率	%	100	100	終了・完了

平成29年度、平成30年度の主な取組実績													
○よしかわ観光協会補助金交付額	○なまずモニュメント『森と鯨』												
<table border="1"> <tr><td>平成29年度</td><td>3,830,000円</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>2,965,000円</td></tr> </table>	平成29年度	3,830,000円	平成30年度	2,965,000円	<table border="1"> <tr><td>目的</td><td>「なまずの日」を記念し、市のシンボルとなっている「なまず」を活用し、吉川に対する誇りと愛着心を醸成すること、観光資源として更なる市のPRを図る。</td></tr> <tr><td>材質等</td><td>石(高さ:230cm、幅:90cm、奥行:54cm)</td></tr> <tr><td>制作者</td><td>伊藤哲一 氏</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>3,888,000円</td></tr> </table>	目的	「なまずの日」を記念し、市のシンボルとなっている「なまず」を活用し、吉川に対する誇りと愛着心を醸成すること、観光資源として更なる市のPRを図る。	材質等	石(高さ:230cm、幅:90cm、奥行:54cm)	制作者	伊藤哲一 氏	事業費	3,888,000円
平成29年度	3,830,000円												
平成30年度	2,965,000円												
目的	「なまずの日」を記念し、市のシンボルとなっている「なまず」を活用し、吉川に対する誇りと愛着心を醸成すること、観光資源として更なる市のPRを図る。												
材質等	石(高さ:230cm、幅:90cm、奥行:54cm)												
制作者	伊藤哲一 氏												
事業費	3,888,000円												